

「東京の緑を守ろうプロジェクト助成」 新規助成先団体の決定について

東京都とセブン-イレブン記念財団（別紙3）は、緑の保全活動を行う市民団体を支援する「東京の緑を守ろうプロジェクト」（別紙1）に取り組んでいます。

この一環である「東京の緑を守ろうプロジェクト助成」（別紙2）について、新たに平成24年度から助成を行う団体を選定しましたのでお知らせします。

◆助成先団体 計19団体

◇3年間助成（平成24～26年度）・・・8団体

団体名（*）	申請活動名
エンジョイ・ハーブの会	公園でハーブの花壇作り及びハーブ教室の開催
東小おやじの会	カブトムシプロジェクト
NPO 法人 東京樹木医プロジェクト	さくらを守る市民活動の推進
目黒サンクチュアリーズ	目黒区地域在来の絶滅危惧種・希少種のサンクチュアリ（聖域）造り
丸池の里わくわく村	丸池たんぼの稲作
多摩グリーンボランティア森木会	亀ヶ谷緑地・多摩中央公園・よこやまの道 グリーンボランティアプロジェクト
くにたち桜守	くにたちの桜並木は東京で一番見事です!!
NPO 法人 すぎなみ環境ネットワーク	都内の緑を増やし、都民が緑や自然に親しむきっかけをつくる活動

（*助成申請書の到着順）

◇単年度助成（平成24年度）・・・11団体

団体名（*）	申請活動名
東村山植生研究会	野火止水の保全に係る毎木調査
ボランティア 100本の木	保存樹木を孫たちの財産にのこそう
横沢入里山管理市民協議会	トウキョウダルマガエル生息地の復元
浅間山自然保護会	都立浅間山公園の自然環境の保全と山野草の保護育成
多摩境緑地保存会	今ある緑地を守る市民活動
SAN/せたがや地域共生ネットワーク 宮坂・経堂・赤堤	『夏みかんひろばでこんにちは!』-地域にひらく庭の活用-
凸凹森の会	布田崖線緑地の保全活動
玉川上水・すぎなみの会	観察会・植生調査・展示会を通じた玉川上水の普及活動
NPO 法人 エコ生活ひろめ隊	まちの緑を増やす活動や緑とのふれあいを促進する市民活動
日野市環境基本計画推進会議 みどりグループ	みどり・生き物マップづくり及び緑地の植生調査
NPO 法人 めぐみ	日野市百草山及び日野市矢の山公園等 緑地保全

（*助成申請書の到着順）

◆助成総額 約290万円（平成24年度分）

<「東京の緑を守ろうプロジェクト助成」の概要>

この事業は、市民団体が、東京に残る樹林地等の維持保全活動や、緑の少ない市街地において緑を増やす活動、都民が緑や自然に親しむきっかけをつくる活動等の緑を守り育てる活動を行う際に、その活動費用を助成するものです。

次回（平成 25 年度公募）については、8月頃に応募要項を発表する予定です。

「2020年の東京」への実行プログラム2012事業

本件は、「2020年の東京」への実行プログラム2012において、以下の目標・施策に指定し、重点的に実施している事業です。

目標3 水と緑の回廊で包まれた、美しいまち東京を復活させる

施策7 緑のネットワークをつなげ、自然豊かな東京を次世代へ継承する

【問い合わせ先】

◆「東京の緑を守ろうプロジェクト」について

○東京都都市整備局都市づくり政策部緑地景観課 細川

電話 03-5321-1111（内線 30-286）

◆セブン-イレブン記念財団及び「東京の緑を守ろうプロジェクト助成」の詳細について

○セブン-イレブン記念財団 小野

電話 03-6238-3872

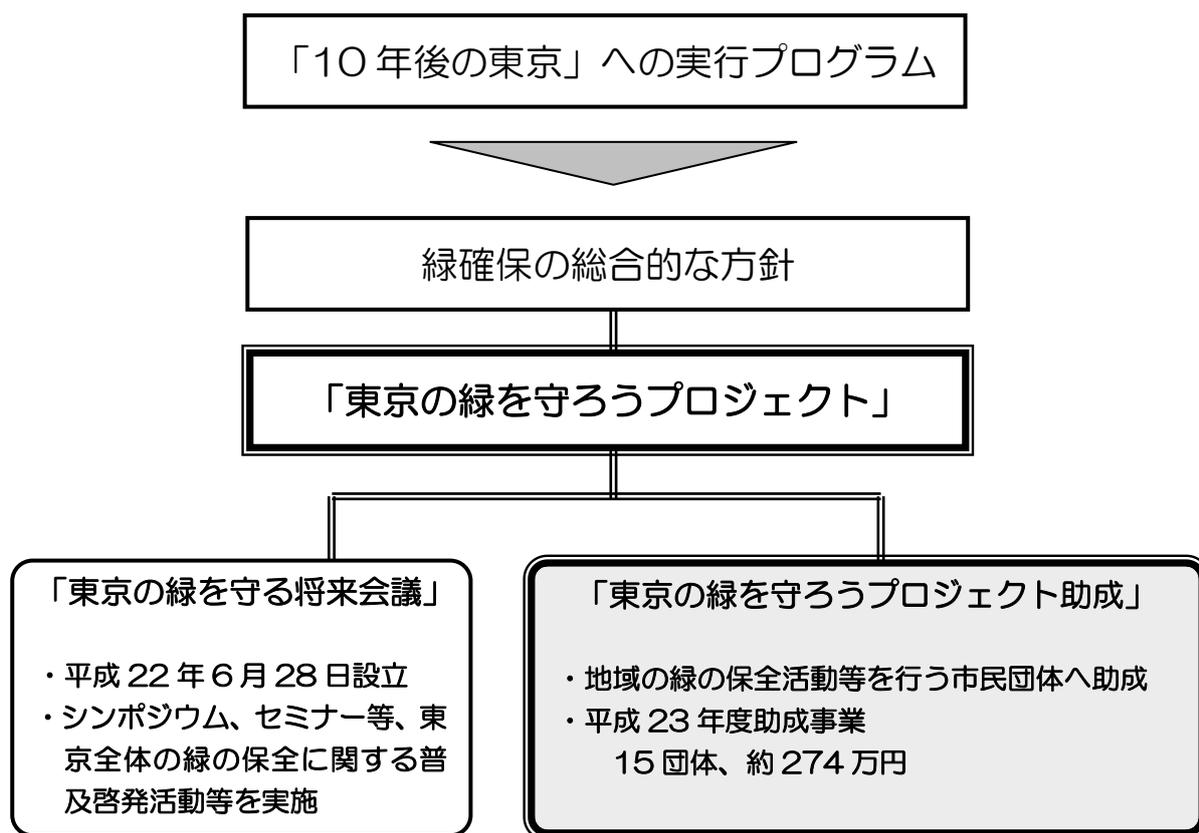
○東京の緑を守ろうプロジェクトについて

東京においては、都市公園などの新たな緑が創出される一方、都市の中に残された樹林地や農地等の既存の緑は、これを上回って減少している。

東京都は、こうした状況を自治体共通の重要な課題ととらえ、「10年後の東京」への実行プログラムに基づき、特に減少傾向にある民有地の既存の緑を計画的に確保することを目的として、平成22年5月、区市町村（島しょ部を除く）と合同で「緑確保の総合的な方針」を策定した。

この方針では、10年間の計画期間における、確保することが望ましい既存の緑の箇所及び面積、緑の創出を伴うまちづくり事業をリスト化し、図面として公表するとともに、新たに取り組む施策として、崖線の緑の保全、東京ラインガルテン（都市型農園）事業等を提示した。「東京の緑を守ろうプロジェクト」は、この方針における既存の緑を守る取組「民間基金との連携による緑地保全」として位置付けられる。

平成22年2月、東京都とセブン-イレブン記念財団は、「東京の緑を守ろうプロジェクトに関する協定」を締結し、東京全体の緑の保全を支援する新たな民間団体「東京の緑を守る将来会議」の創設と活動支援、地域の緑の保全活動等を行う団体への助成事業「東京の緑を守ろうプロジェクト助成」を行うこととした。

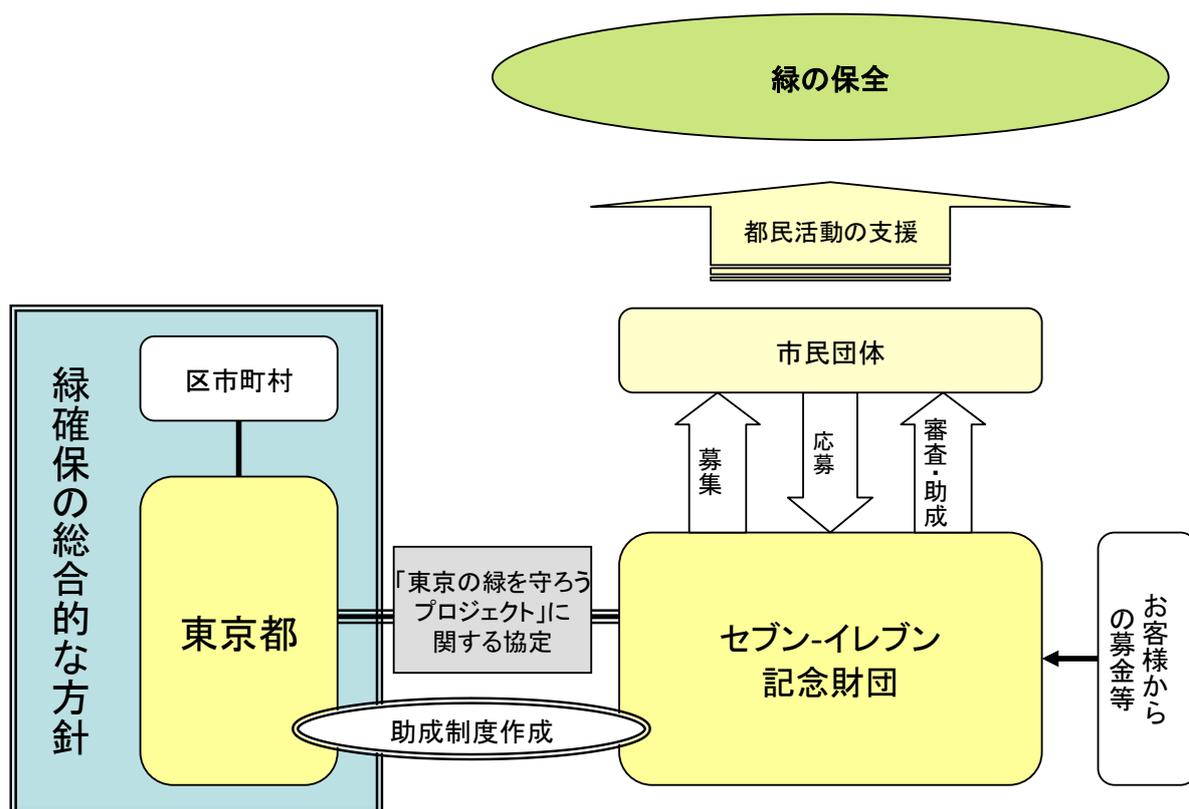


○「東京の緑を守ろうプロジェクト助成」について

セブン-イレブン記念財団が従来実施している公募助成（環境 NPO 支援事業）とは別に、東京都の区域限定の事業として新たに立ち上げた事業。

東京都とセブン-イレブン記念財団が協力して制度の枠組を定め、募集から審査、助成等の手続きはセブン-イレブン記念財団が行う。

助成金の原資は、都内のセブン-イレブンに置かれた募金箱へのお客様の店頭募金である。（一部に㈱セブン-イレブン・ジャパンからの寄付金を含む。）



<平成 24 年度公募助成 応募要項（要約）>

◆応募条件

- 対象となる団体：緑の保全活動等を行うことを目的とした NPO 法人や任意団体、若しくは新しく活動を始める市民グループ（*応募時点で団体となっていれば、新しい団体でも可）
- 対象とする区域：東京都全域（*島しょ部を除く）
- 対象となる活動：東京に残る樹林地等の維持保全活動や、緑の少ない市街地において緑を増やす活動、都民が緑や自然に親しむきっかけをつくる活動等

◆助成内容

- 対象となる経費：実際の活動に必要な材料費、備品費、消耗品費、旅費交通費、通信費、保険料等（*事務所費、人件費、飲食費等のほか、助成対象としてふさわしくないと判断した費用は助成しない）
- 助成額及び期間：①年間 30 万円まで（最長 3 年間） ②年間 10 万円まで（単年度）

◆審査

- 審査機関：セブン-イレブン記念財団

○「セブン-イレブン記念財団」について

平成 22 年 3 月に、「セブン-イレブンみどりの基金」のすべての業務を引き継いで一般財団法人として発足した団体

- ◆理 事 長：山本 憲司（セブン-イレブン豊洲店オーナー 東京都江東区）
- ◆事 業 目 的：“環境”をテーマに社会貢献に取り組む
- ◆事 業 内 容：環境 NPO 支援、自然環境保護・保全、地域環境美化、広報、災害復元支援、広域災害義援金募金活動などの事業
- ◆事 業 資 金：セブン-イレブンの店頭に寄せられた募金と(株)セブン-イレブン・ジャパンからの寄付金
 - *店頭募金 約 3 億 4 千万円（平成 22 年度）
 - 平成 22 年度までの累計 約 39 億 5 千万円
- ◆義援金募金：平成 24 年 1 月末迄の累計 約 35 億 6 千万円
- ◆設 立 日：平成 22 年 3 月（*「セブン-イレブンみどりの基金」は平成 5 年 11 月）
- ◆所 在 地：東京都千代田区二番町 8 番地 8
- ◆主な活動実績：
 - 災害復元支援事業・・・支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり（平成 18 年度～）
 - 自然環境保護・保全事業・・・九重ふるさと自然学校（平成 19 年度～）
 - 環境 NPO 支援事業・・・公募助成 276 団体、約 2 億 5 千万円（平成 23 年度）
 - 環境ボランティアリーダー支援 等

<東京都内での活動実績>

○災害復元支援事業

- ・三宅島の自然の復元と島の復興のための支援

義援金募金・・・平成 12 年 6 月に発生した雄山の噴火災害に対して全国のセブン-イレブン加盟店の店頭で義援金募金を行い、約 4300 万円を被災地にお届けしました。

三宅島緑化プロジェクト・・・平成 20 年から、NPO 法人園芸アグリセンターが都内の高校や大学と連携して行う植樹活動を支援するとともに、セブン&アイHL DGS. 社員 350 名による約 12000 本の植樹を行っています。

○自然環境保護・保全事業

- ・東京都千代田区の桜の保護活動・・・平成 20 年から、NPO 法人東京樹木医プロジェクトと千代田区さくらサポーター事務局が共同で行うサクラの樹勢回復活動を支援しています。

○環境 NPO 支援事業・・・公募助成 13 団体、約 9 百万円（平成 23 年度）